

# 施工作業標準書

受入	1. 荷下ろし：納入時同梱のナイロンスリングによる荷下ろし、フラットな場所に荷下ろし(三段積込可)	写真①、②
	2. 検査：概要図(巾・縦帯幅(±2mm)・縦帯ピッチ(176mm-180mm)	図①、②
	ラベルⅠ【品番・ロール長・生産ロット番号】、(ラベルⅡ【敷設位置明示】、) 損傷有無の確認	図③
	荷下ろし作業時、吊り荷が安定しない場合は介錯ロープにて補助する。※介錯ロープは吊り治具返却時に忘れないこと。	
敷設	1. 準備工：整地し、図面通り割付；水系 or チョークにてラインを引く(道路センターラインに対し直角が標準)。	写真③、④
	2. パラピン固定(最初に2~4m敷設後、起点の両端と中央の3箇所を固定、残りは6m程度毎に両端を固定) 注：パラピンは縦帯に刺さない。  強風条件下では、パラピン標準使用量以上の押さえ対策が必要な事有り。  パラリンクを重機にてまき出し・敷設をするときに、介錯ロープ補助にて敷設方向を安定させるのは有効である。	写真⑤
	3. 重機の走行跡など整地が乱れた場合は、トンボ(レーキ)、バックホウ等により整地しなおしてから敷設する。	写真⑥
	4. バックホウにて吊り治具を転がすように引張り、まき出しながら敷設する。たるみ・ゆるみを取り除く為に手作業による引張り調節を行う。	写真⑦、⑧
	5. 切断必要時(長尺ロール)、所定の敷設長さを測り、切断する(横帯からの長さを基準にマーキングすると良い)。  カッター・ナイフ・ハサミ(遊びがないもの)にて切断する(但しロール余裕長は約0.5m/ロールである)。	写真⑨、⑩
	6. 隣り合うパラリンクに等間隔以上の隙間が生じないように(帯センター間180mm以内：50L~700L)に敷設する。  (特に道路曲線部においては、外周に合わせ道路センターラインに対し直角)	写真⑪、⑫
	7. 接続金具必要時(~300L)：タイプ1【50L-200L】・タイプ2【250L-300L】を用いる、接続に片側最低30cm必要	写真⑬、⑭
盛土	1. パラリンク上を直接重機は走らない。	写真⑮、⑯
	2. 最初にバックホウにて盛土材撒き出し → ブルドーザーにて縦帯方向に盛土材撒き出し敷均す(帯めくれを防ぐ)。	
安全	吊荷の下には入らない	—

# 受入

写真① 荷下ろし



写真② 仮置き



# 受入

図① 製品概要図

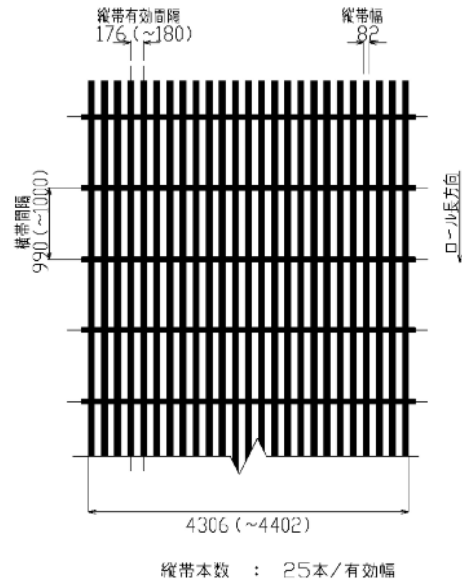


図-1 パラリンク(100L)製品図

図② 敷設図

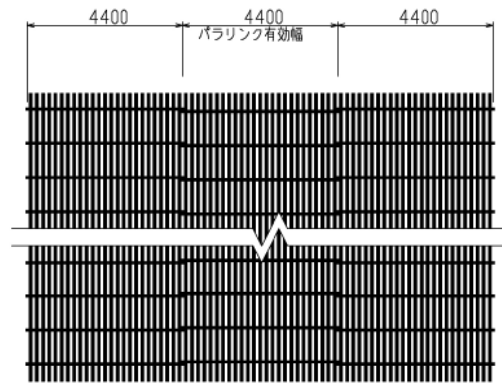


図-2 パラリンク敷設図

図③ ラベル

PARALINK		パラリンク
品番	TYPE 500L	SPECIFICATION No 74803 スペック番号=生産管理番号
巾	WIDTH 4.5 metre	LENGTH 95 metre 長さ
オーダー番号	ETP NUMBER I-1	RUN NUMBER 7006/3 生産口外番号
ロール番号	ROLL NUMBER 000009	
シース	SHEATH : POLYOLEFIN ポリオレフィン(ポリエチレン)	
芯材	FIBRE : POLYESTER 工業用ポリエステル長繊維	
MANUFACTURED IN INDIA Maccaferri Environmental Solutions (Pvt) Ltd. Webside Website <a href="http://www.maccaferri-india.com">http://www.maccaferri-india.com</a>		インド生産 マカフェリー社インド工場

# 敷設

写真③ 白線による割付



写真④ 水系による割付





# 敷設

写真⑤ 端部3ヶ所をパラピンにて固

写真⑥ トンボ(レーキ)にて均し



# 敷設

写真⑦ 敷設



写真⑧ 手作業による引張調節



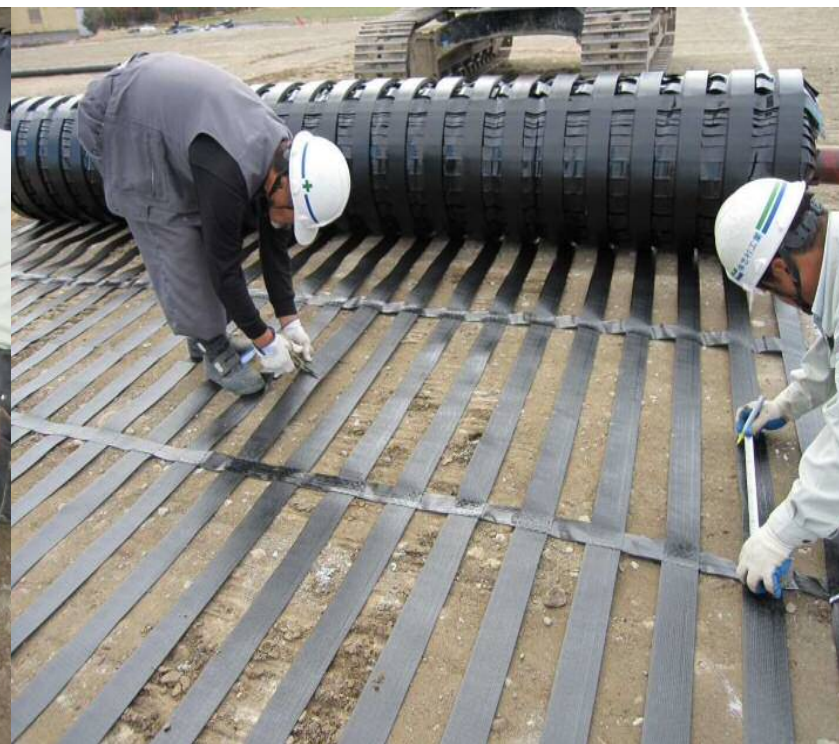


# 敷設

写真⑨ マーキング、切断Ⅰ



写真⑩ 切断Ⅱ



# 敷設

写真⑪ 隣り合うパラリンク（突合せ）



写真⑫ 敷設完了





# 敷設

写真⑬ 接続金具（～300L）



写真⑭ 接続後、手作業による引張調節



# 盛土

写真⑮ 土の撒き出し



写真⑯ 敷均し、締固め





## 吊り冶具返却時の注意点

納入時に吊り冶具と一緒に介錯ロープが納入される。  
施工終了後に吊り冶具の返却をしてもらうが、その際に介錯ロープを忘れないこと。



吊り冶具施工時



吊り冶具納入時



介錯ロープ

